

デーリー東北

2025年(令和7年)12月1日(月曜日) (13)

小学生向けのネット利用方法の
伝え方を学んだ講習会



子どものネット被害防げ！

八工大で 研究会 サイバー防犯ボランティア

八戸

ネットを通じた犯罪から子どもたちを守ろうと、見守ったり教えたりする立場のサイバー防犯ボランティアを対象とした講習会が27日、八戸工業大で開かれ、受講者10人が小学生向けのネット利用方法の伝え方について理解を深めた。

青森県警が、同ボランティアを務める八工大生、八戸警察署管内の少年警察ボランティアを対象に開催。八戸IT・テレマーケティング未来創造協議会とセーファラインターネット協会のメンバーが講師を務めた。

オンラインも交えた講習会で、同協会の佐川英美さんは、SNS(交流サイト)のほとんどが中学生以上の使用を想定しているとして「リテラシーは学んで身に付くもの。発達段階は個人で違うので、何年生になったら使っていくという基準はない」と強調した。

重要なのは利用習慣の意識付けだとし、子どもが保護者と一緒になって作ったルールならば守ろうという気持ちも高まると説明。「ネット利用が子どもの未来の可能性を広げ、被害者にも加害者にもならないようにしてほしい」と訴えた。

(桑田友人)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。